

## 【巻頭言】

### 諸井勝之助先生追悼号の発刊に寄せて

去る2018年1月5日、諸井勝之助先生が93歳で永眠されました。申すまでもなく、諸井先生はわが国の会計学そしてファイナンスの学問的基礎を築いた、まさに泰斗というべき存在であり、その学恩の及ぶ範囲ははかりしれません。

諸井先生は、1924年のお生まれで、戦争のさなかの1942年に東京帝国大学に入学、在学のまま海軍経理学校に入り、悪化する戦況下で主計科士官として大変なご苦勞をなさったと伺います。終戦の1945年12月に東京帝国大学に復学されて卒業後、東京大学経済学部で35年以上にわたり教鞭をとられました。定年退官後は、新潟大学、青山学院大学でも指導にあたり、2004年4月、弊社が設立したLEC東京リーガルマインド大学に教授として着任いただきました。

諸井先生とのご縁は、不肖私の在学中のご指導を嚆矢として、東京大学の同窓会（東大経友会、会計人東大会）を通じて卒業後も時々お目にかかっておりました。その間に、弊社が公認会計士等の試験合格者を招いて催す祝賀会に来賓としてお越しいただいたり、事業運営にご助言をいただいたりと、親しくお付き合いをさせていただくようになりました。

そして、2004年の株式会社立大学の開設に続いて、翌2005年からの実践的な大学院の開設をめざすにあたり、最高の教育を提供するため最高の先生方をお迎えしたいという熱意抑えがたく、諸井先生のもとへ直接お願いに上がりました。先生が私たちの思いにご賛同くださった喜びは忘れることができません。以後、2006年6月の紀要第1号の発行と15号までの続刊をはじめ、研究科長としての大学院の統率を通じて、運営人事・科目の選定等あらゆる面で諸井先生は大学院の要となられ、そのご尽力によって各分野の一流の先生方をお招きすることができ、今日のLEC会計大学院の使命である「理論と実務の融合」した良質な教育を提供することの礎を築いていただきました。

今日までの間には、大学院の運営体制や教育課程を抜本的に改めざるを得ない難局の時期もありました。当時研究科長であった諸井先生にも大変なご負担をおかけする事態となりましたことは慙愧に堪えません。しかし、それでも諸井先生は「私はLEC会計大学院が好きですから」と、大学院の将来を見据えて様々な改革を力強く後押しし、若手教員を中心に大学院が新たな境地を切り拓くための先導の労をおとりくださいました。そして、ご自身は現場を退かれたのちも、学長顧問として、後輩の先生方が実践的な指導を進める過程をあたたく見守り続けてくださいました。

株式会社が設立する会計専門職大学院という全く前例のない取り組みに、いち早くご賛同くださり、惜しみなくご尽力くださった諸井先生の公平・無私な人格の高潔さ、教育・研究に対する真摯な情熱と使命感、あくなき探究心・新分野への挑戦の姿に接し、戦中戦後の激変期の価値観の転換を克服して来られた先生の透徹した学問への思い入れ、慈父のごとき人生観に改

めて深く思いを致します。諸井先生のお力なくして、LEC 会計大学院は生まれ得ず、ここまで育つこともできませんでした。先生の築かれた礎の上に、関係される諸先生と共に、本大学院の活動が、我が国の今後の多難な課題に際していささかなりとも貢献すべき道を切り拓くことこそが、LEC 会計大学院をこよなく愛して下さった諸井先生へのご恩返しであると思料しております。

3月1日には、東京都千代田区の学士会館にてお別れの会が行われました。先生がお好きだった花々に飾られた会場には、先生が生涯の大半を過ごされた大学界の関係者のみならず、政財界の各方面から、本当に多くの方々が集まられていました。当日の参加者は約300人に及んだと伺います。会場では、先生ご自身が撮影された写真のアルバムなど、思い出の品も拝見することができました。専門分野で偉大な業績をあげられる一方で、先生はオペラなどの芸術にも造詣深く、昆虫や写真をはじめとした幅広い趣味を楽しまれ、人との会話・交流を何よりも喜びとされていました。接する者を魅了せずにはおこななかった先生のお人柄を、会場にいた誰もが懐かしみ、それぞれに追慕の念を深くしたひとときであったと思います。

このたび、LEC 会計大学院を縁として諸井先生と交流された多くの方々からご寄稿をいただき、諸井勝之助先生追悼号として纏めることとなりました。ご寄稿くださいました方々は、直接先生の指導を受けた現職の教員はもちろんのこと、大学院設立当初にお世話になった先生方、学外の研究会参加者の皆様など、諸井先生の薫陶・警咳に直接・間接に触れた方々です。先生がLEC 会計大学院での日々を楽しんでおられた様子が窺われ、大学の代表者としてこの上なく有難いことと存じております。ご多用の中、貴重な原稿をお寄せくださった各位に厚く御礼申し上げます。

追悼号発刊に際しまして、諸井先生の在りし日のお姿を偲び、深く哀悼の意を表しますと共に、ご冥福を心よりお祈りして、巻頭のことばとさせていただきます。

2018年7月

LEC 東京リーガルマインド大学院大学  
高度専門職研究科  
学長 反町 勝夫